

2025年 7月

2024年度卒業生対象アンケート調査結果報告

【目的】

本調査は卒業生に対し、卒業後の進路や就職の状況、在学中に受けた教育内容やサービスについて、良かった点や社会に出て活かされているかなどについて調査することで、教育内容やサービスの改善の参考資料等に活用することを目的として実施する。

【概要】

実施月:2024年12月実施

対象者:卒業生(2024年3月卒業 145件)

方法: 本学よりメールにてアンケートフォームを送付し回答

【回答数・回答率】

回答数: 27件 回答率:18.6%

【設問内容】

- ・現在の就労状況と転職の有無確認
- ・大学での学びは仕事でどの程度役立っているかを9項目5段階評価で質問した。

【考察】

回答者からは〈取得した資格・免許〉〈学業(履修科目実習)〉〈就職支援セミナー〉については、卒業後「非常に役立っている」「役立っている」大学での学びであったとの回答が 60% ~70%を超えていた。友人、教員の交流についても高く評価されていた

今年度も寄せられた要望を踏まえた各種の就職セミナーの実施を検討しており、学生が在 学中に何を学びたかったのか、また、社会においてどのような力が求められているのかに ついて継続的に分析を行い、より実践的かつ個別的な支援の充実を図っていく。

◇役立っている大学での学び (一部抜粋)











